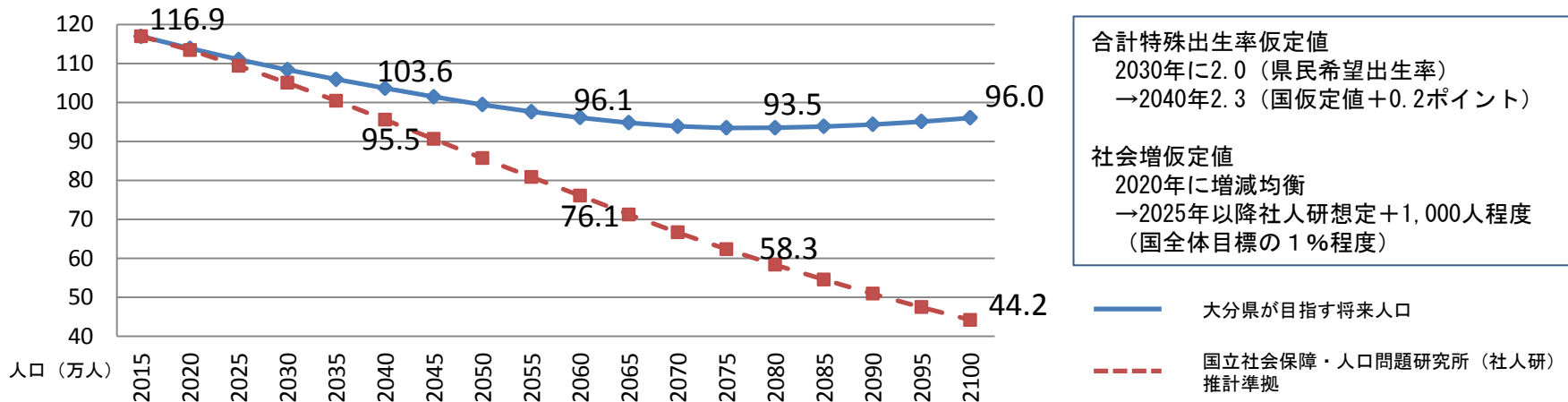


人口の現状分析

- 1986年以降緩やかな人口減少が続いてきたが、今後急激に人口減少が進行
(2014年117万人→2040年96万人→2060年76万人→2080年58万人→2100年44万人)
- 総就業者数も減少(2010年532千人→2040年422千人)、特に第1次産業従事者は現在の4分の1まで減少
- 小規模集落数が2025年には全集落の約4割まで増加
- 急激な高齢化の進行による県民医療費・介護給付費の増加

人口の将来展望

- 自然増と社会増の両面からの取組をこれまで以上に進めることで、2060年までの人口減少カーブをできる限り緩やかにし、さらに2100年(今世紀末)には増加に転じさせ、100万人近い人口を維持(対策を講じなかった場合の2倍以上の人口増)



大分県が目指す将来人口における自然増減と社会増減の影響

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年	2075年	2080年	2085年	2090年	2095年	2100年
社会増減	-2,538	36	842	1,226	1,285	1,480	1,470	1,408	1,345	1,311	1,370	1,387	1,342	1,275	1,236	1,224	1,214	1,208
自然増減	-4,535	-6,205	-6,585	-6,424	-6,220	-6,063	-5,875	-5,468	-4,918	-4,366	-4,020	-3,178	-2,148	-1,228	-589	-161	257	662
増減計	-7,073	-6,169	-5,743	-5,198	-4,935	-4,583	-4,405	-4,060	-3,573	-3,055	-2,650	-1,791	-806	47	647	1,063	1,471	1,870